

かのりがわりゅういきいせきぐん 鹿乗川流域遺跡群

なかはざま

むかいだ

中狭間遺跡・向田遺跡

地元説明会資料

2026（令和8）年9月26日（土）

西暦	0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	
	弥生時代				古墳時代			飛鳥・奈良時代		平安時代				鎌倉時代・室町時代・戦国時代				江戸時代			明治・大正	
	竪穴建物跡などの集落遺構												溝									
	土器棺墓や方形周溝墓																		水田跡			
											中狭間遺跡											
											向田遺跡											
	水田跡																					
															河川跡							

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24

電話（0567）67-4161【管理課】4163【調査課】

ホームページ <https://maibun.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

Instagram <https://www.instagram.com/aichimaibun/>



HP はこちら



調査支援：株式会社イビソク

かのりがわりゅういきいせきぐん 鹿乗川流域遺跡群について

鹿乗川流域遺跡群とは、鹿乗川とその西の^{へきかいだいち}碧海台地に沿うように南北約2kmにわたって展開する遺跡群です。愛知県の中河川改良工事に伴う発掘調査では、これまでに弥生時代から江戸時代までの遺構や遺物が見つかっています。今年度は、^{むかいだ}向田遺跡と^{なかはざま}中狭間遺跡の発掘調査を実施しました。2つの遺跡は、鹿乗川流域遺跡群の中央に位置します。

なかはざま 中狭間遺跡

これまでの発掘調査では、遺跡の南側に弥生時代の^{ほうけいしゅうこう}方形周溝墓※1や^{どきかんぼ}土器棺墓※2が、遺跡の北側に弥生時代～平安時代の^{たてあなたてものあと}竪穴建物跡が集中して見つかっています。

また、遺跡の全体で平安時代～鎌倉時代の溝もみつかっています。

※1 周囲を方形（四角形）の溝で囲んだ弥生時代の墓。中央に遺体をおく土坑がある場合があるが、後の時代の耕作や整地で削り取られ、溝だけが残る事例が多い。
※2 土器を棺とした墓。

むかいだ 向田遺跡

向田遺跡はこれまでの発掘調査で、江戸時代に埋没した河川が見つかっています。それより前の遺構は、江戸時代の河川に大きく削り取られているようです。



鹿乗川流域遺跡群の全体図

なかはざま 中狭間遺跡の調査成果

調査の結果、26 A区では、主に^{たてあな}縦穴建物跡（弥生時代～古墳時代?）や、溝（平安時代～鎌倉時代）が見つかりました。



- ① 溝（26A区、南東から）
平安時代～鎌倉時代。幅約1.2 m、深さ0.5 mの、土地を区切るための溝です。底には溝を掘ったときの^{すき}鋤（スコップ）の痕跡も残っています。



- ② 26A区（真上から）



- ③ 23A区土器棺墓

中狭間遺跡の主な発掘調査地と遺構

2022年度調査区（22A・C・E区）、2023年度調査区（23A～C区）、2024年度調査区（24区）、2025年度調査区（25区）、2026年度調査区（26A区、26B区）



向田遺跡の調査成果

今回調査した 26A 区では、古墳時代前期ころの水田跡や、土器を伴う土坑（穴）が見つかりました。

26B 区・26C 区では江戸時代頃に埋没した河川跡や、護岸の跡が見つかりました。



① 26Cb 区の全景
(南東から)



② 26Cb 区の護岸の跡
(南西から)



③ 河川にのこる足跡 (26B 区)



④ 古墳時代前期の水田跡 (26A 区、南西から)
地面に斑点のようにイネ株の跡が見られます。



⑤ 古墳時代前期の土坑 (26A 区、南西から)

幅約 1.5m、深さ約 0.6m。井戸の可能性もあります。



向田遺跡の主な発掘調査地と遺構

2017 年度調査区 (17 区)、2019 年度調査区 (19 区)、2022 年度調査区 (22 区)、2023 年度調査区 (23 区)、2025 年度調査区 (25 区)、2026 年度調査区 (26A 区、26B 区、26Ca 区、26Cb 区)